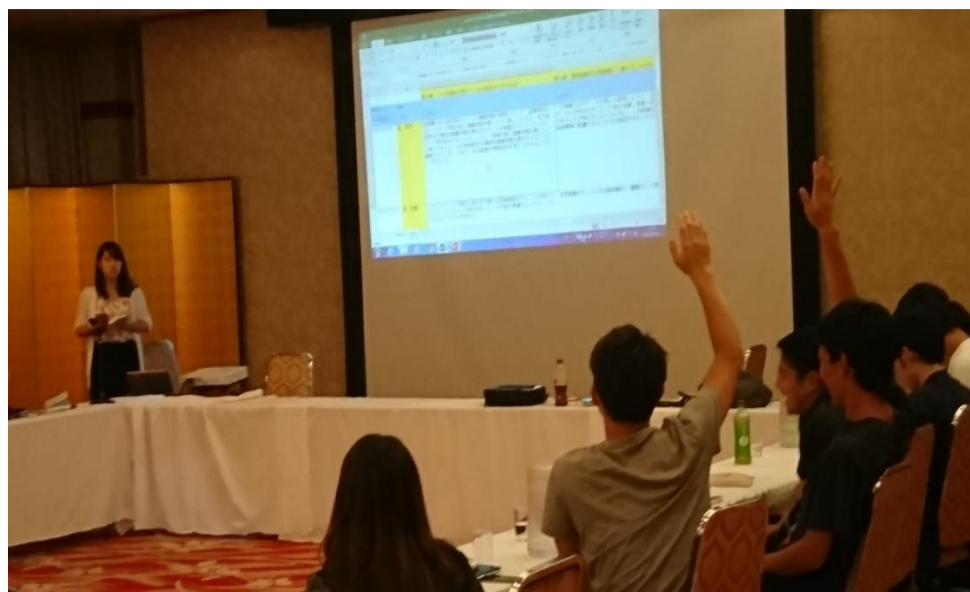


# 【統計・情報論】 坂田 幸繁 ゼミ



演習テーマ： 応用統計解析 — 経済・社会データを用いた実証分析およびその方法 —

## <活動内容>

- 2年次： パソコンを使った実習を通して、統計学の基礎を学んでいきます。ゼミ生が好きなテーマを決めデータを探し、加工して、そこから何が言えるかをレポートとしてまとめます。基本的なエクセル操作や統計ソフト SPSS を身につけ、表または図が語るものを読み取る力をつけることを目的とした活動となっています。
- 3年次： 実際にマイクロデータを利用しながら、統計学の基礎から応用まで、幅広く学習していきます。後期からは、4年次の演習論文に向けてミニ卒論を作成します。自分のテーマを設定し、データを収集・加工する作業を通して、学習した理論を応用していくことになります。
- 4年次： 演習論文の作成に向けて、3年次の後期に書き上げたミニ卒論をさらに展開していきます。作成した論文を推敲することを通して、一連の文章の中に自分が言いたいことを表現する技術を磨くことができます。
- 課外活動： 毎年ゼミ生が主体となって、懇親会とゼミ合宿を企画していきます。学年を超えた企画なので、進路の話など、いろいろな情報交換の場となっています。なお、他大学との合同ゼミも予定しています。

## <ゼミ紹介>

応用統計解析というと、難しそうなイメージがあるかもしれませんが、大丈夫です。私達のゼミは、新聞や本などで見かける身近なデータを実際に扱うことを通して、データ解析に慣れるところから始まります。若干の根気があれば、誰でもそのコツをつかむことができます。

そして、データ解析(Excel や SPSS などの操作を含めた)技術と統計的特性を読む力は、社会に出てからも使える非常に重要なスキルとなっています。数式の展開や統計的思考方は、このようなスキルを身につけるためのものです。ゼミ活動を通してデータと向き合ううちに、自然と数式の背後にあるロジックが浮かんでくるようになります。このような本質をとらえる力は、社会人として活動する上での良質な糧となるでしょう。